

市町村名	那覇市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	まちなか商店街再生プロジェクト推進事業事業 (H30事業番号3ー12)				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章ー3ー(8)ーイ 商店街・中心市街地の活性化と産業の 振興	
担当部課名	経済観光部	なはまち振興課	事業実施 年度	平成 29	～平成 30	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(7)
事業内容	中心商店街への観光客の誘客及び地元客の呼び戻しを図るため、平成29年度まちなか商店街再生プロジェクト推進事業で提案されたオープンカフェや継続したマーケット事業、物販等、賑わいを創出するための事業を可能にするため、法令要件の整理、関係機関との調整を行いまちなか商店街再生計画案を作成する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H29年度	H30年度	○年度		○年度	合計
	A. 予算現額	4,800	3,000				7,800
	B. 執行済額	4,790	2,970				7,760
	うち 交付金充当額	3,832	2,376				6,208
	執行率(%) (B/A)	99.8%	99.0%	#DIV/0!		#DIV/0!	99.5%
	執行状況の説明	まちなか商店街再生プロジェクト推進事業として業務委託契約し実績払いで執行した。残額については、企画提案にかかる差額によるものである。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
				H29年度	H30年度	○年度	○年度
	関係者(道路管理者、警察等)調整及び会議開催(庁内、商店街等)	目 標		関係者調整・会議の開催			
		実 績		関係者調整・会議の開催			
	法令要件の整理	目 標		法令要件の整理			
		実 績		法令要件の整理			
	まちなか商店街再生プロジェクト案の提案	目 標	プロジェクトの提案				
		実 績	プロジェクトの提案				
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
				H29年度	H30年度	○年度	○年度
	再生計画案の作成完了	目 標		再生計画案の作成			
		実 績		再生計画案の作成			
	中心商店街における現状・課題の整理	目 標	課題整理				
		実 績	課題整理				
	提案をうけたプロジェクトの実証実験	目 標	実証実験				
		実 績	実証実験				

事業完了後の取り組み								
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成／進捗状況					
	☐ 中期にわたる事業効果 ☒ 後年度に発現する事業効果		R1年度	○年度	○年度	○年度	R2年度 目標/発現年度	
	事業完了後の成果目標	再生計画案の作成完了	目 標	再生計画案の作成				
			実 績	再生計画案の作成				
		中心商店街通行量	目 標					140,000人
実 績							64,451人	
状況説明	【R1年度】 - 都市再生整備計画(ソフト事業)の策定に向けて、道路管理者および公安委員会の認定・同意を得る手続きを開始した。 - 商店街振興組合で構成する事業の運営組織の体制づくりに向け、協議を行った。 【R2年度】 - 都市再生整備計画(まちなか商店街地区都市再生整備計画)を策定し、公表した。 - 中心商店街通行量については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、国内外の観光客の減少及び地元客の外出自粛等により、通行量が大幅に減少し目標を大きく下回った。 【 年度】 .							
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)					
【R1年度】 - 都市再生整備計画の策定に向け道路管理者および公安委員会の認定・同意を得る手続き及び事業の運営組織の体制づくりに向け協議を開始したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、調整が一時中断している。 【R2年度】 - 都市再生整備計画(まちなか商店街地区都市再生整備計画)を策定し公表した。 【 年度】 .			【R1年度】 - 都市再生整備計画の先進都市事例を収集及び提供し、公安委員会の認定・同意を得る手続きをスムーズに進める。 【R2年度】 - オープンカフェ等の実施、ストリートファニチャーの設置などによる商店街の魅力向上に向けた取組支援を行う。 【 年度】 .					
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)								
【R1年度】 - 都市再生整備計画が商店街の賑わい創出に繋がるツールであることを前面に打ち出しながら、商店街振興組合が主体となった事業運営組織の体制づくりを推進し支援していく。 【R2年度】 - 都市再生整備計画まちなか商店街地区を策定し、ホームページで公開した。策定した計画をもとに、商店街の賑わい創出に繋がる具体的な計画について、実施主体となる商店街振興組合に策定を促し、事業運営組織の体制づくりを協力しながら推進し支援していく。 【 年度】 .								

市町村名	那覇市							
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】								
事業名	観光協会ホームページ強化事業 (R1事業番号1ー27)				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章ー3ー(2)ーウ 観光客受入体制の整備		
担当部課名	経済観光部	観光課	事業実施 年度	令和 元 ～ 令和 元 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲー1ー(1)		
事業内容	那覇市観光協会HPのリニューアルを行い、誘客効果と観光客の那覇市内での滞在時間の延長及び市内消費額の増加、安心安全に繋がる情報を提供する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()							
事業期間中 の予算額 ・執行額 【単位:千円】		令和元年度	○年度	○年度	○年度	合計		
	A. 予算現額	2,700				2,700		
	B. 執行済額	2,700				2,700		
	うち 交付金充当額	2,160				2,160		
	執行率(%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%		
	執行状況の説明	事業報告書、収支決算書等を精査し、事業費が適正に執行されていることを確認した。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況					
				R1年度	○年度	○年度	○年度	○年度
	観光協会ホームページの強化構築に対する 支援	目 標	支援					
		実 績	支援					
		目 標						
		実 績						
		目 標						
		実 績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況					
				R1年度	○年度	○年度	○年度	○年度
	観光協会ホームページの強化構築	目 標	強化構築					
		実 績	強化構築					
		目 標						
		実 績						
		目 標						
		実 績						

事業完了後の取り組み								
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成／進捗状況					
	☐ 中期にわたる事業効果 ☒ 後年度に発現する事業効果			R2年度	R3年度	○年度	○年度	○年度 目標/発現年度
	ページビュー月平均約21万件	目 標		210,000件	210,000件			
		実 績		38,500件				
	ページ閲覧者へアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。	目 標		満足度80%以上	満足度80%以上			
実 績			未実施					
状況説明	【R2年度】 ・月平均ページビューが目標値を大幅に下回った要因として、新型コロナウイルス感染症拡大により観光需要が大幅に減少したことが要因の一つと考えられる。 ・R2年度にアンケート調査未実施となった要因として、那覇市観光協会との認識の相違によりアンケート内容が不十分であり、成果目標の効果検証を行える内容ではなかったことが挙げられる。R3年度はアンケート内容を改め、リンク先もわかりやすい位置に修正を行った。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・							
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)					
【R2年度】 ・ホームページ閲覧者の減少は、コロナ禍の影響により観光需要が減少したことも要因と考えられる。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・			【R2年度】 ・ホームページを多くの方に閲覧してもらうためにも、有用でわかりやすい情報発信について引き続き工夫が必要となる。 【R3年度】 ・ホームページの利便性を検証し、閲覧者にとって有用なサイト運営に引き続き努める。 【 年度】 ・					
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)								
【R2年度】 ・幅広い年齢層に有用でわかりやすい情報発信を出来るよう、情報の更新度やレイアウトの見直しなど、見やすく最新の情報を発信するホームページ運営に引き続き努める。 【R3年度】 ・ホームページ閲覧者へ利便性に関するアンケートを実施し、届けられた意見等を参考にしながら利便性の高いホームページとなるよう引き続き取り組む。 【 年度】 ・								

市町村名	那覇市							
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】								
事業名	活き活き人材育成支援施設整備事業業 (R1事業番号5-1)				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-5-(6)-イ 地域づくりを担う人材の育成		
担当部課名	生涯学習部	生涯学習課	事業実施 年度	平成 26	令和 元	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所 Ⅲ-2、Ⅲ-3-(1)		
事業内容	人材育成を図るとともに、住民の学習・交流活動を支援するための拠点施設を整備する。							
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他()							
事業期間中 の予算額 ・執行額 【単位:千円】		H26～28年度	H29年度	H30年度	R元年度	合計		
	A. 予算現額	86,867	234,249	116,072	546,509	983,697		
	B. 執行済額	75,826	233,687	115,955	544,030	969,498		
	うち 交付金充当額	60,658	186,949	92,764	435,224	775,595		
	執行率(%) (B/A)	87.3%	99.8%	99.9%	99.5%	98.6%		
	執行状況の説明	・H26年度に基本構想、H27～28(繰)年度に基本設計、H28～H29(繰)年度に実施設計、H29年度に建設用地取得、H30年度に建設工事(一部)、R1年度に建設工事及び備品整備等を実施し、R2年4月に開館した。 ・H27年度の基本設計及びH28年度の実施設計については、地域住民や関連部署との協議・調整が必要となったことから繰越があったが、最終的な執行率は98.6%となり、概ね計画的に執行出来た。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況					
				H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
	基本設計・実施設計の実施	目 標	・基本設計	・実施設計	—	—	—	
		実 績	・基本設計	・実施設計	—	—	—	
	建設用地取得業務の実施	目 標	—	—	・不動産鑑定 ・用地取得 ・工作物補償	—	—	
		実 績	—	—	・不動産鑑定 ・用地取得 ・工作物補償	—	—	
	建設工事・備品整備の実施	目 標	—	—	—	・建設工事(一部) ・工事監理 ・磁気探査	・建設工事 ・工事監理 ・備品整備	
		実 績	—	—	—	・建設工事(一部) ・工事監理 ・磁気探査	・建設工事 ・工事監理 ・備品整備	
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況					
				H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
	基本設計・実施設計の完了	目 標	基本設計の完了	実施設計の完了	—	—	—	
		実 績	基本設計の完了	実施設計の完了	—	—	—	
	建設用地取得業務の完了	目 標	—	—	不動産鑑定、用地取得、工作物補償の完了	—	—	
		実 績	—	—	不動産鑑定、用地取得、工作物補償の完了	—	—	
	建設工事・備品整備の完了	目 標	—	—	—	建設工事(一部)、工事監理、磁気探査の完了	建設工事、工事監理、備品整備の完了	
		実 績	—	—	—	建設工事(一部)、工事監理、磁気探査の完了	建設工事、工事監理、備品整備の完了	

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成／進捗状況				
	☐ 中期にわたる事業効果 ☒ 後年度に発現する事業効果		R2年度 目標/発現年度	○年度	○年度	○年度	○年度 目標/発現年度
	①外国人観光客の対応のための講座参加者数 ②伝統文化活動、地域交流活動の活動者 ③外国人との交流参加者	目 標	①5,600人以上 ②10,700人以上 ③1,200人以上				
		実 績	①422人 ②3,483人 ③16人				
		目 標					
実 績							
状況説明	【R2年度】 ・成果目標として掲げた3項目とも、当初予定の目標を大きく下回っている。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R2年度】 ・新型コロナウイルスの影響により、当初予定していた主催事業(講座や交流イベント)の規模縮小や中止、当施設の臨時休館や開館時間短縮(市民活動の制限)があったことから、当初予定の目標を大きく下回ることとなった。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・			【R2年度】 ・事業目的(外国人観光客などに対しておもてなし(うといむち)の出来る人材の育成)を達成するため、コロナ禍の中においても、より多くの市民が参加できるようなオンライン等も活用した講座等を企画・運営していく必要がある。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
【R2年度】 ・当分の間、新型コロナウイルスによる影響が続くことが見込まれるため、コロナ禍の中においてもより多くの市民が参加可能となるオンラインを中心とした講座の企画に取り組み、外国人観光客などに対しておもてなし(うといむち)の出来る人材の育成を図る。なお、不特定多数の方が視聴可能なYouTubeを利用したオンライン講座については、「講座参加者数」を指標とすることが難しいため、「動画再生回数」をコロナ禍における1つの指標とすることを検討したい。(※YouTube公式チャンネルのR2年度の総動画再生回数7,169回) 【 年度】 ・ 【 年度】 ・							

市町村名	那覇市							
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】								
事業名	貸切バス乗降場・待機場整備事業 (H30(繰越)事業番号1―36)				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ 観光客受入体制の整備		
担当部課名	経済観光部	観光課	事業実施 年度	平成 30	～平成 31	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)	
事業内容	貸切バスの国際通り周辺での路上駐車による交通混雑の緩和を図る。							
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他()							
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H30年度	H31年度	○年度		○年度	合計	
	A. 予算現額	43,528	0				43,528	
	B. 執行済額	34,077	0				34,077	
	うち 交付金充当額	27,261	0				27,261	
	執行率(%) (B/A)	78.3%	#DIV/0!	#DIV/0!		#DIV/0!	78.3%	
	執行状況の説明	H30年度は沖縄県との合意書締結の調整に不測の日数を要し、想定外の基本設計業務に係る手続き等により、年度内の事業完了が困難となったため繰越を行った。 不用額は、当初想定していた工事請負費について、仕様・数量の変更等による予定価格の減額と、落札差額(約90.5%)による入れ執行残である。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況					
				H30年度	H31年度	○年度	○年度	○年度
	乗降場・待機場の整備 ①舗装工事 ②機械設備工事	目 標	土質調査、磁気 探査、実施設 計、舗装工事の 実施	土質調査、磁気 探査、実施設 計、舗装工事の 実施				
		実 績	土質調査、磁気 探査、実施設 計、舗装工事の 完了	土質調査、磁気 探査、実施設 計、舗装工事の 完了				
		目 標						
		実 績						
		目 標						
	実 績							
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況					
				H30年度	H31年度	○年度	○年度	○年度
	県庁北口付近及び牧志駅付近への貸切バス の一日平均流入台数:2割減	目 標	2割減	2割減				
		実 績	調査未実施	調査未実施				
		目 標						
		実 績						
		目 標						
	実 績							

事業完了後の取り組み								
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成／進捗状況					
	☐ 中期にわたる事業効果 ☒ 後年度に発現する事業効果			R2年度	R3年度	○年度	○年度	○年度 目標/発現年度
	県庁北口付近及び牧志駅付近への貸切バスの一平均流入台数:2割減		目 標	2割減	2割減			
			実 績	調査未実施				
			目 標					
実 績								
状況説明		【R2年度】 ・貸切バス乗降場の供用開始と同時期に、新型コロナウイルス感染症の影響により国内外の観光客が激減している。貸切バスの利用自体も激減している状況が続いているため、台数計測による検証ができる状況にないことから、旅行需要の回復後に計測を実施する。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)					
【R2年度】 ・昨今の新型コロナウイルス感染症の影響により、国内外観光客の激減し、貸切バス利用自体も激減している状況が続き、台数計測による検証ができない状況にない。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・			【R2年度】 ・今後、新型コロナウイルス感染症の収束状況をみながら、観光需要の回復にあわせ、旅行会社及びバス会社等各関連団体と連携し、乗降場の周知及び利用促進を図る。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・					
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)								
【R2年度】 ・今後、新型コロナウイルス感染症の収束状況をみながら、観光需要の回復にあわせ、旅行会社及びバス会社等各関連団体と連携し、乗降場の周知及び利用促進を図る。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・								

市町村名	那覇市							
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】								
事業名	文化芸術発信拠点施設整備事業(パレット) (H30線_事業番号7-11)				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－ウ 文化活動を支える基盤の形成		
担当部課名	市民文化部	文化振興課	事業実施 年度	平成 24	～平成 30	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所 Ⅲ－3－(2)		
事業内容	幅広い文化芸術公演に触れる機会や文化芸術活動等の場を提供するため、パレット市民劇場において、施設整備と機能強化を図る。							
実施方法	■ 直接実施 □ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他()							
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H24～H25年度	H26年度	H29年度	H30年度(繰越)	合計		
	A. 予算現額	149,340	2,128	188,355	90,180	430,003		
	B. 執行済額	149,340	2,128	188,355	90,180	430,003		
	うち 交付金充当額	119,471	1,702	150,683	72,144	344,000		
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
	執行状況の説明	・H30年度は、施工条件の調整に不測の日数を要したことから、H31年に繰り越した。 ・事業全体の執行率は100%であり、計画的に執行できた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況					
				H24年度	H25年度	H26年度	H29年度	H30年度
	パレット市民劇場、パレット市民ギャラリーの 施設整備を行う	目 標	パレット市民劇場、 市民ギャラリーの 施設整備					
		実 績	パレット市民劇場、 市民ギャラリーの 施設整備					
	パレット市民劇場の施設整備実施 ・舞台機構改修工事 ・舞台照明改修工事 ・デジタルシネマ機器改修工事	目 標		パレット市民劇場の 施設整備				
		実 績		パレット市民劇場の 施設整備				
	可動式高所作業装置の整備	目 標			可動式高所作業装置の 整備			
		実 績			高所作業装置の 整備完了			
	・舞台照明設備デジタル化工事実施 ・舞台音響システム強化工事実施 ・カメラシステム強化工事実施	目 標				工事3件実施		
		実 績				工事3件完了		
	・舞台機構機能強化工事実施	目 標					工事1件実施	
		実 績					工事1件完了	
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況					
				H24年度	H25年度	H26年度	H29年度	H30年度
	パレット市民劇場、パレット市民ギャラリーの 施設整備	目 標	パレット市民劇場、 市民ギャラリーの 施設整備					
		実 績	パレット市民劇場、 市民ギャラリーの 施設整備					
	パレット市民劇場の施設整備実施 ・舞台機構改修工事 ・舞台照明改修工事 ・デジタルシネマ機器改修工事	目 標		パレット市民劇場の 施設整備				
		実 績		パレット市民劇場の 施設整備				
	可動式高所作業装置の購入	目 標			高所作業装置購入			
		実 績			高所作業装置1台購入			

	・舞台照明設備デジタル化工事完了 ・舞台音響システム強化工事完了 ・カメラシステム強化工事完了	目 標				工事3件実施	
		実 績				工事3件完了	
	・舞台機構機能強化工事実施	目 標					工事1件実施
		実 績					工事1件完了

事業完了後の取り組み

成果目標(指標)		達成／進捗状況					
		○年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度 目標/発現年度	
事業完了後の成果目標	■ 中期にわたる事業効果 □ 後年度に発現する事業効果	年間利用者数	目 標	—	62,900人	—	61,000人
			実 績	57,631人	50,624人	—	8,830人
		目 標					
		実 績					
	状況説明	【H30年度】 ・H30年度の目標達成状況としては、施設利用者数の目標値62,900人に対し、実績値50,624人となり、約80.5%となり目標値を下回っている。					
		【R1年度】 ・H30年度に予定していた舞台機構機能強化工事をR1年度に繰越したため、工事による施設の休館期間があった。そのため当初予定していたR1年度の目標値(61,000人)をR2年度の目標値としてスライドさせた。					
		【R2年度】 ・R2年度の目標値61,000人に対して実績値8,830人となった。新型コロナウイルス感染症対策の影響により、劇場の稼働率が33%に落ち込み、さらに収容人数も1/2に制限されたことから目標を大きく下回っている。					

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
【H30年度】 ・公演ごとの利用者数を増やしていくため、施設強化されたことの周知や満足度の聴取の検討が必要であるとする。 【R1年度】 ・施設維持のための改修工事が必要な状況であるため、休館期間により利用者数の確保が厳しい状況が続くことが想定される。 【R2年度】 ・目標を施設利用者数としているが、今後も工事による休館期間や感染症対策の影響により、目標達成が厳しい状況が続いている。	【H30年度】 ・各公演の主催者および観客へ施設機能が強化されたことを周知し、また、各公演の主催者および観客に対しアンケートを実施し、施設満足度や要望等を調査する。 【R1年度】 ・工事等による休館期間を施設の閑散期に設定するなど、利用者数への影響が小さくなるよう工夫する。 【R2年度】 ・感染症対策の施設利用ガイドラインを踏まえつつ、主催者等と連携しながら公演の手法を工夫するなど、利用者確保に向けた検討をする必要がある。

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【H30年度】 ・施設の機能強化により実現可能となった内容をホームページ等で周知するとともに、アンケートを実施し、施設満足度や要望等を調査して施設利用の定着を図っていく。また、得られた要望に対応するための体制の構築も検討していく。 【R1年度】 ・工事による休館期間や感染症対策の影響により、今後も施設利用に制限がかかるなど厳しい状況が続くことが想定されるが、機能強化を果たした劇場設備の内容をホームページ等でアピールするなど、利用者の確保に努める。 【R2年度】 ・公演主催者と一緒になって、利用者が安心して利用できるような舞台上での公演者の感染拡大防止対策の徹底、劇場の収容人数の制限がかかる公演について公演回数を増やす案内などの利用者確保に向けた公演の手法を検討していく。
--

市町村名	那覇市							
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】								
事業名	なは産業支援センター機能強化事業(駐車場整備) (H28、H29(繰越)事業番号3-9)				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(3)-イ 情報通信関連産業の立地促進		
担当部署名	経済観光	商工農水課	事業実施 年度	平成 28	~ 平成 30	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(7)	
事業内容	本市の産業振興を支える企業の育成支援施設「なは産業支援センター」の機能として不足している駐車場(自走式駐車場)の機能拡充を計る。 H28年度:基本設計等、H29年度:実施設計、H30年度建設、H31年3月供用開始							
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他()							
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H28年度	H29年度	○年度	○年度	合計		
	A. 予算現額	9,644	14,632			24,276		
	B. 執行済額	7,289	9,877			17,166		
	うち 交付金充当額	5,830	7,901			13,731		
	執行率(%) (B/A)	75.6%	67.5%	#DIV/0!	#DIV/0!	70.7%		
	執行状況の説明	平成29年度において実施設計を進めていくなかで、土質調査を実施する必要があることが確定したため、土質調査に係る委託料を減額補正した。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況					
				H28年度	H29年度	○年度	○年度	○年度
	基礎調査及びプランニングの実施 (整備位置、施設規模など)		目 標	基礎調査及び プランニング				
			実 績	土地調査・用 地測量の実施				
	実施設計		目 標		完了			
			実 績		完了			
			目 標					
			実 績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況					
				H28年度	H29年度	○年度	○年度	○年度
	基礎調査およびプランニングの完了		目 標	完了				
			実 績	完了				
	実施設計書の作成完了		目 標		完了			
			実 績		完了			
			目 標					
			実 績					

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標（指標）		達成／進捗状況				
	☐ 中期にわたる事業効果 ☒ 後年度に発現する事業効果		R元年度	R2年度	R3年度	○年度	○年度 目標／発現年度
	駐車場が整備されたことにより利便性が確保されたか（80%）以上を含め、アンケート調査により本事業の在り方を検証する。		目 標	80.0%	80.0%	80.0%	
			実 績	供用開始延期となったため未実施	コロナ感染症の影響により未実施		
			目 標				
			実 績				
	状況説明	【H30年度】 当初、平成30年度中に供用開始だったが、令和元年11月に延期になった。 【令和元年度】 建築資材（高力ボルト）が全国的に需給逼迫のため工程を見直すことになり、工期を延長し、令和2年3月より供用を開始した。供用開始が延期となったため、事後評価はR2年度末に実施する。 【令和2年度】 供用開始から1年となる令和3年3月にアンケート実施の予定であったが、コロナ禍にあつて外出・イベント等の自粛が続いており利用は低迷しており、駐車場整備前と状況が大きく異なることから、評価は次年度に実施する。					
【完了後】事業効果等の確認 （施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等）			【完了後】改善措置等の検討 （事業効果の更なる向上等）				
【R元年度】 令和2年3月より供用を開始しているが、新型コロナの影響による国の緊急事態宣言による外出・イベント開催自粛によりなは産業支援センター及び周辺施設利用も激減しており、想定よりもかなり少ない利用となっている。 【R2年度】 供用開始以降コロナ禍にあり、整備前後を比較するアンケートの実施について状況が大きく異なることから比較が困難となっている。			【R元年度】 年度中の供用期間が1か月と短いこと、コロナの影響が大きいことなどから、実際のニーズを把握することが難しいため、次年度以降に状況把握を行う。 【R2年度】 前年同様コロナの影響が大きく改善状況の把握は困難であるため、状況把握は次年度に延期する。				
今後の取り組み方針（関連・同種事業へのフィードバック等）							
【R元年度】 コロナの影響によりニーズを把握することが難しいため、次年度以降に状況把握し、対応を検討する。 【R2年度】 コロナの影響により施設利用者が減少している状況が続いており、状況把握は次年度持越し、成果目標の指標の変更も含めて対応を検討する。							

市町村名	那覇市							
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】								
事業名	亜熱帯庭園都市形成推進調査(道路)				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(7)-イ 歩いて暮らせる環境づくりの推進		
担当部課名	都市みらい部	都市計画課	事業実施 年度	平成 24	～平成 30	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-12	
事業内容	長期未着手状態にある大中町内細部街路(19路線)について、現地調査や地域住民との懇談会を実施し、地域の歴史的な魅力を活かした安心・安全な歩行空間の確保に向けた都市計画決定の見直し方針を定める。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()							
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		～平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計		
	A. 予算現額	7,950	4,834	5,760	9,882	28,426		
	B. 執行済額	6,845	4,834	5,360	9,396	26,435		
	うち 交付金充当額	5,475	3,867	4,288	7,516	21,146		
	執行率(%) (B/A)	86.1%	100.0%	93.1%	95.1%	93.0%		
執行状況の説明	長期未着手道路大中町内細部街路について、年度内で執行した。 不用額486千円については委託の入札残によるものである。							
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況					
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
	大中町内細部街路予備設計の検討		目 標	実施	実施	実施	実施	
			実 績	実施	実施	実施	実施	
			目 標					
			実 績					
			目 標					
			実 績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況					
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
	大中町内細部街路について都市計画変更(案)の策定に向けた道路予備設計を実施する。 延長:約3.2km 路線数:19路線 幅員:4～9m		目 標	実施	実施	実施	実施	
			実 績	実施	実施	実施	実施	
			目 標					
			実 績					
			目 標					
			実 績					

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成／進捗状況				
	☐ 中期にわたる事業効果 ☒ 後年度に発現する事業効果			R1年度	R2年度 目標/発現年度	○年度	○年度 目標/発現年度
	当該事業の実施後における都市計画変更に向けた手続きを進める中で、変更案に対する地域住民等の理解度(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。		目 標	都市計画変更に向けた準備	80%以上		
			実 績	実施	72.5%		
			目 標				
実 績							
状況説明		【R1年度】 - 都市計画変更の手続きに向けて、都市計画図書の作成や県との事前調整等を行った。 - また、当初、H30年度の当該事業完了後、都市計画変更図書の準備が整い次第、都市計画変更手続を進め、併せて地域住民等へ変更案に対するアンケート調査を行うとしていた。しかし、地域住民等から、当該事業の中で作成した変更案に対する新たな要望等があり、整理する必要が生じたため、R1年度は当該整理を行い、R2年度に当該アンケートを行うこととした。 【R2年度】 - 都市計画変更に向けた住民説明会の中でアンケート調査を行った。 - 調査の結果、変更案に対する理解度が72.5%であった。					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R2年度】 - 地域住民等へのアンケート調査を行ったところ、変更案に対する理解度として72.5%となっており、成果目標である80%よりも若干下回る結果であるが、概ね理解を示しているものと考える。 - 変更案については概ね理解を示しているものの、個別権利に関する内容も含まれていたことから、成果目標である80%よりも若干下回る結果になったものと考える。			【R2年度】 当該道路の事業実施の際には、段階に応じて適宜説明会等を開催し、地域住民等の理解度をより高められるよう取り組んでいく必要がある。				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
【R2年度】 当該道路の事業実施の際には、事業認可後の詳細設計等に関する説明会や、工事実施前の説明会を開催し、地域住民等の理解度をより高められるよう取り組んでいく。							

市町村名	那覇市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	水資源有効利用推進事業 (H29事業番号11-1)				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－1－(2)－ア 3Rの推進	
担当部課名	環境部	環境保全課	事業実施 年度	平成 24	～平成 29	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所 Ⅲ－10－1	
事業内容	水資源の有効利用及び地下水かん養や雨水流出量による浸水被害の軽減・流量抑制に資するため、住宅又は店舗・事業所等に雨水施設又は井戸水を利用するための施設を設置又は修繕等するものに対し、予算の範囲内で、その経費の一部を補助する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	合計	
	A. 予算現額	1,200	800	800	800	3,600	
	B. 執行済額	468	297	790	530	2,085	
	うち 交付金充当額	374	237	632	424	1,667	
	執行率(%) (B/A)	39.0%	37.1%	98.8%	66.3%	57.9%	
	執行状況の説明	那覇市雨水施設等設置費補助金交付要綱に基づき、雨水補助を行っている。申請主義のため年度により実績にばらつきがある。H29年度についてはH28年度を上回る広報活動を行ったが、目標件数に至らなかった。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	雨水施設等設置費補助件数:20件	目 標	30件	20件	20件	20件	
		実 績	12件	8件	21件	15件	
		目 標					
		実 績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	水資源の有効利用を図ることによって、浸水被害の軽減や流量抑制に寄与する。	目 標	被害の軽減や流量抑制へ寄与する	被害の軽減や流量抑制へ寄与する	被害の軽減や流量抑制へ寄与する	被害の軽減や流量抑制へ寄与する	
		実 績	被害の軽減や流量抑制への寄与がなされた	被害の軽減や流量抑制への寄与がなされた	被害の軽減や流量抑制への寄与がなされた	被害の軽減や流量抑制への寄与がなされた	
	【参考指標】 雨水施設等の設置補助件数	目 標	30件	20件	20件	20件	
		実 績	12件	8件	21件	15件	
	【H30成果目標】 設置施設の利用頻度 80%以上(週に1回以上)	目 標					利用頻度 80%以上 (週に1回以上)
		実 績					ほぼ毎日利用 87.5%

事業完了後の取り組み								
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成／進捗状況					
	☐ 中期にわたる事業効果 ☒ 後年度に発現する事業効果			H30年度	○年度	○年度	○年度	○年度 目標/発現年度
	施設設置者へのアンケート調査 (設置施設の利用頻度)		目 標	利用頻度 80%以上 (週に1回以上)				
			実 績	ほぼ毎日利用 87.5%				
			目 標					
			実 績					
	状況説明	【30年度】 ・平成30年11月8日アンケート調査実施。設置施設の利用頻度は、87.5%がほぼ毎日となっており成果目標達成。						
		【 年度】 ・						
【 年度】 ・								
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)				【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【H30年度】 ・施設設置者へのアンケート調査実施の結果、利用頻度は、87.5%がほぼ毎日で、36.5%が草木への散水となっており、水資源の有効利用及び地下水かん養に期待できる。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・				【H30年度】 ・水資源の有効利用、及び補助金申請について、市民への広報活動を積極的に行う。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)								
【H30年度】 ・水資源の有効利用及び地下水かん養については、環境月間、住環境パネル展等でチラシを配布し市民の認知度向上を図る。 ・補助金の申請については、広報紙「なは市民の友」への掲載期間を延長し、ホームページをより分かりやすく変更することで申請の増加を図る。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・								